

3月の主な行事予定

月	日	曜	内 容	放課後 遊び
3月	1日	(火)	放課後鼓隊	ふれあい週間 ○
	2日	(水)	音楽朝会 全校卒業式練習①	○
	3日	(木)	6年生を送る会 お別れ給食 スクールカウンセラー来校	○
	4日	(金)	食育朝会 保護者会(1・2・3年・あしたば 6校時 4・5・6年 放課後)	○
	5日	(土)		
	6日	(日)	お別れレクリエーション	
	7日	(月)	児童朝会(防災) クラブ活動	○
	8日	(火)	避難訓練 全校卒業式練習② 放課後鼓隊	○
	9日	(水)		○
	10日	(木)	放課後鼓隊	○
	11日	(金)	お別れ球技大会(5・6年) スクールカウンセラー来校	○
	12日	(土)		
	13日	(日)		
	14日	(月)	児童朝会 全校卒業式練習③ 図書ボランティア 5時間授業	○
	15日	(火)	放課後鼓隊	○
	16日	(水)	スクールカウンセラー来校	
	17日	(木)		○
	18日	(金)		○
	19日	(土)		
	20日	(日)	春分の日	
	21日	(月)	休日	
	22日	(火)	児童朝会	○
	23日	(水)	卒業式予行(1・2校時) 卒業式前日準備(6校時 4・5年) 大掃除(5校時) 1・2・3・6年5時間授業	○
	24日	(木)	卒業式 4時間授業 ※給食なし	
	25日	(金)	修了式 離任式(5校時) ※給食終	○
	26日	(土)	春季休業日始 羽黒スキー交流(~31日)	
	27日	(日)		
	28日	(月)		
	29日	(火)		
	30日	(水)		
	31日	(木)		

- 【生活指導目標】 進んで学校をきれいにしよう
- 【安全指導目標】 安全な生活をしよう
- 【保健指導目標】 自分の健康生活を振り返ろう 耳を大切にしよう
- 【給食指導目標】 自分の食生活を振り返ろう

【4月当初の予定】

- 4月5日(火) 前日準備 新5・6年生 10時までに 登校
新2年 11時20分 登校
- 6日(水) 始業式 入学式
- 7日(木) 給食始 (新2年生以上)



学びの庭

No. 98 3月号
平成28年3月1日
新島村立新島小学校
学校だより

「どのように○○なの?」の一言をつけ加えてみませんか
「豊かな語彙」から「豊かな人間性」の育成を図る

校長 片岡 祥二

以前ある学校の研究発表会に参加した際、講師の先生から「語彙の豊かさが、豊かな人間性の育成にかかわる」といった内容の話を伺いました。私にとって興味深い話だったので、先日の子供朝会で子供達と教職員に紹介しました。といっても、子供達に「豊かな語彙」は容易には理解できません。そこで、「色の言い表し方」を例として取り上げてみました。

市販の十二色の色鉛筆セットでは、下記のような色が扱われています。この十二種類の語彙しか知らなかったら、私たちは周囲の物の色を的確に表すことは十分にはできないでしょう。ところが、二十四色セット、三十六色セット、六十色セット……と、色を表す語彙が増えていくと、色の言い表し方も多様となり、表現も豊かになっていくことが想像できます。

では、語彙を豊かにするにはどうすればよいか、講師の先生は読書習慣の定着を提言されていました。私は読書だけでなく、いろいろな情報の活用、さらに家族のコミュニケーションなども有効だと思っています。そして、語彙が豊富なかたは、豊かな表現力や豊かな人間性の育成は図れません。それぞれの言葉を適切に使う能力や選択する感性などを身につけていることが重要で、その学びや育成の

場は家族とのアナログ的なコミュニケーションの場が最も身近で、最適の場だと考えています。「今日、学校はどうだった?」との問いに対する返事を「別に…」、「楽しかった…」、「あまり楽しくなかった…」で終わらせるのではなく、「どのように○○だったの?」と一言をつけ加え、そのような内容が含まれた回答をさせることで、幅や深みのあるやりとり、人間性の育成が広がっていくような気がします。

子供達へ投げかける言葉も、「今日の料理の味はどう?」といった日常的によく交わす言葉でも、またこの時期を意識した「あと一ヶ月で○年生も終わるけれど、振り返ってどんな一年だったと思う?」など、自然体のやりとりの中で発せられるもので結構です。子供からの返事の内容に合わせて「どのように○○だったの?」のプラス一言をつけ加えることで、子供達が引き出しの中にしまっ込んでいた語彙を引き出したり、その適切な使い方や新たな語彙を紹介したりしていただければ幸いです。

今年度もあと一ヶ月となりました。まどめの月にふさわしい、充実感あふれる学校生活を子供達に味わわせたいと考えています。引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしく願っています。

【参考…色鉛筆のセット例】

- 十二色セット
あか あお だいだい ちやいろ きいろ みずいろ
ももいろ きみどり むらさき みどり しろ くる
- 六十色セット(一部)
あか レモンいろ あお あかちやいろ しゅいろ
きみどり そらいろ ちやいろ だいだい みかんいろ
エメラルドいろ メロンいろ こげちやいろ みどり
ぐんじよういろ こむぎいろ やまぶきいろ
なんどいろ あかむらさき つちいろ きいろ
…

一年間を振り返り

六年生「本気で取り組むということ」

六年担任 鈴木 隼人

今まで書いた作文をクラスのみんなで読み直し、六年生がまとめ直した作文で一年間を振り返ります。

「運動会」

「パチパチパチ」

惜しみない拍手が会場を包んだ。紅亜さんがタワーの上で立つタイミングで大きな拍手が聞こえてきた。全ての技でみんなのかけ声が合っていたから五段タワーは成功するだろうと思っていたが、その予感が的中したのだ。

五段タワーの練習は思っていたより大変だった。休み時間や放課後にも練習をしているみんなを見て、みんなが本気になったんだと思った。それでも五段タワーを立たせることはできないほど、難しい技だった。

リハーサルではみんなの気持ちが高まってもそろそろ疲れていた。なぜそう感じたのかというと、「せーの」

のかけ声がいつもより大きかったからだ。リハーサルでは全ての技を失敗することなく通すことができた。

そして、本番。みんなの気持ちが更にそろそろ合っていた。全ての技が成功した。組体操が終わると、みんなは喜び合っていた。みんなが本気になったから組体操は成功した。

「学芸会」

学芸会で頑張らなければいけないと思っただけなのに、練習中、先生に叱られたときのことだ。台詞をあっという間に覚えていたみんなは、本番までに時間がたくさんあったので、気持ちが緩んでいた。舞台練習が始まったとき、気持ちを切り替えていなかった男子に向かって、「頑張っているのは女子だけじゃないか。女子に迷惑だから、

本気でできないならやらない方がいい。」と、先生が言った。次の日からは、クラスのみんなの気持ちが一つになり、成功へと近づいていった。

ついに本番。私たちは円陣を組み、気合いを入れた。全ての場面が成功し、南中ソーランも手応えがあった。「明日へ」の歌を歌っているとき、みんなの顔を流れる汗、ハアハアという息づかいから、みんなの本気の気持ちが伝わってきた。私たちの本番は大成功だった。

「大縄集会」

初日の大縄練習は、一年前に達成できなかった目標の三〇〇を超えた三〇四回という記録を出せた。しかし、記録は思うように伸びず、下がってしまうこともあった。先生から「気持ちがそろっていない。このままの気持ちで跳び続けても記録は伸びない。」と言われた。みんなで話し合いをして全員が本気で取り組むことを決意した。

当日、みんなは緊張していた。一回目のチャレンジ。途中でつまずいたり引つかなかったりして、三〇〇回を超えることができなかった。そして、最後のチャレンジ。先生が「泣いても笑っても最後の一回。後悔の無いように頑張れ。」と言った。結果は三五四回。記録を聞いたとき、みんなが飛び上がって喜んだ。

しかし、大会最高記録という目標を達成することはできなかった。先生に、言われる前から本気を出してあげれば、もっとたくさん練習していれば、お互いのことを思いやってくれれば、大会新記録を出せたかもしれない。本気を出せなかったことを、後悔している。

本気になれなくて失敗した経験、本気で取り組んで成功した経験から、「本気になることの大切さ」を実感できた一年間だったと思います。これからの人生を左右しかねない大切なことに気付くことができたのは、保護者、地域の皆様が担任やクラスの子供達を温かく見守り、支えてくださったからだと思います。一年間、ありがとうございました。

あしたば学級

担任 鶴岡 潤一 波田地 昭子

今年の宿泊学習は、神津島に行きました。神津小学校、つばき小学校との交流活動、レストラン学習など、他校の子供達との親交を深めることができました。また、個々の成長を実感できた二日間になりました。交流学習でも、サマーキャンプ、二分の一人式にと、四年生ならではの活動に取り組み、貴重な経験を積み重ねることができました。新年度も色々なことに挑戦して大いに成長してもらえ、ことを期待しています。

地域・保護者の皆様、一年間あしたば学級を温かく見守って頂き、ありがとうございました。

一年生

担任 滝澤 雄一朗

ドキドキの入学式から一年。学習はもちろんのこと、挨拶や掃除の仕方といった生活の基礎・基本まで、学校生活における基礎を一年かけて身に付けてきました。

どんなことに對しても、意欲をもって取り組める一年生は、新しいことをどんどん吸収し、この一年で大きく成長しました。

進級まで残り一ヶ月。今は、二年生になる期待と希望で胸を膨らませ、入学式の準備を進めています。陰から支えてくださった保護者、地域のみなさん、一年間本当にありがとうございました。

二年生

担任 中村 優子

二年生の素敵なところの一つ、それが「好奇心の強さ」です。学習中はいつも、一つ一つの言葉を敏感に聞き取り、目を輝かせて、次々に課題に挑戦していました。失敗なんて気にしません。時には、子供達の関心が強いので、話題が、国際、科学、歴史に発展し、みんなで考えることも。好奇心の強さは大人以上です。この、「やってみよう。知りたい。できるよ。」という気持ち、二年生を様々な面で大きく成長させているのだと思います。いつまでも大切にして欲しいです。一年間ご協力ありがとうございました。

三年生

担任 久保 大介

一年間を振り返ってみると、数多くの行事が思い出されます。その一つ一つに皆さんの思い出が詰まっています。一番初めにあったのは、遠足です。三年生はリーダーとして、一・二年生をまとめる立場でした。どの行事にも言えることですが、三年生は、どんな時でも「楽しむ」ことを忘れない子達だと思います。計画も楽しみ、練習も楽しみ、そして本番も楽しむ。四年生になって、そんな前向きな心で頑張ってくれています。一年間ありがとうございました。

四年生

担任 吉田 詩文

一年間を通して大きく成長した子供達。特にサマーキャンプを越えて、自分の役割に責任をもち、学級の雰囲気を作ろうとする姿が見られるようになりました。それまでは、裏方としての活動が多かった子が自らリーダーに手を挙げるようになったのは運動会・学芸会でのことです。一年間の活動の中で、一人一人が「自分のできる事」を考えて、意欲的に取り組めるようになりました。四月からは五年生。六年生と共に全校を支えてほしいと思います。一年間ありがとうございました。

五年生

担任 小林 直哉

初めての移動教室は全てが新鮮であり、一つ一つ、目を輝かせてながら活動していました。初めての組体操は六年生に引張ってもらい、見事に五段タワーを成功させることができました。初めての防災学習は、椿油を絞ったり保存食を作ったりしました。初めての家庭科にも意欲的に取り組み、個性豊かなエプロンが完成しました。今年一年、様々な事に取り組んできた五年生も春からいよいよ最高学年！新島小学校のリーダーとして初めての活動が目白押しですが、何事にも真剣に取り組むことができる子達なので、今から活躍する姿が目に見えます。

